

## 製品安全データシート

会社名 アイエスピー・ジャパン株式会社  
 住所 東京都中央区新川1-6-1 アステール茅場町3F  
 電話番号 03-5566-8705 FAX 番号 03-5566-8682  
 作成 1997年 8月 1日  
 改訂 2006年 1月23日

整理番号：1067.12

製品名 GRADE S-2101 MICROPOWDER IRON

物質の特定 単一製品・混合物の区別：単一製品  
 化学名：鉄  
 含有量：97%  
 化学式：Fe  
 官報公示整理番号：化審法・安衛法：非該当  
 CAS No.：7439-89-6  
 国連分類及び国連番号：非該当  
 P R T R 法：非該当  
 安衛法通知対象物質：非該当

危険有害性の分類 分類の名称：可燃性固体  
 危険性：粉塵爆発の可能性がある。  
 有害性：  
 環境影響：

## 応急措置

眼に入った場合：清浄な水で十分洗い流す。  
 コンタクトレンズはすぐ取り外す。  
 異常が残るようであれば医師の手当を受ける。  
 皮膚に触れた場合：水及び石鹼で洗い流す。  
 吸入した場合：空気の新鮮な場所に移す。異常を感じるようであれば、  
 医師の手当を受ける。  
 飲み込んだ場合：水を飲ませた後、指を喉に差し込んで吐かせる。  
 異常を感じるようであれば、医師の手当を受ける。  
 患者に意識がない場合には、口から何も与えてはならない  
 し、吐かせようとしてもいけない。

## 火災時の措置

消火方法：  
 (1) 消火作業は風上から行い、消火を行う人は防火服及び呼吸保護具を着用する。

消火剤 : 粉末、二酸化炭素

#### 漏出時の措置

- (1) できるかぎり拭き取り、回収する。
- (2) 下水等に入り込まないように注意する。

#### 取扱い及び保管上の注意

- 取扱い： (1) できるだけ粉塵の吸入を防ぎ、必要に応じ適切な保護具を着用する。
- (2) 粉塵の発散をできるだけ抑え、作業環境を許容濃度以下に保つように努める。
  - (3) 取扱場所では火気、火花、アークを発する物又は高温点火源を使用しない。
  - (4) 粉塵の発生する取扱場所で使用する電気機器は防爆構造とし、機器類は静電気対策を講じる。
  - (5) 強酸化剤及び還元剤との接触をさける。
- 保管： (1) 防湿に留意して、長期間の保管を避ける。
- (2) 乾燥した場所に保管し、容器は密閉する。
  - (3) 貯蔵場所では常に整理整頓及び清掃に努め、みだりに unnecessary 可燃物を放置しないこと。
  - (4) 貯蔵場所ではみだりに火気を使用しない。

#### 暴露防止措置

管理濃度： なし

許容濃度： 日本産業衛生学会勧告値 (1997 年版)

時間荷重平均： 未設定

粉塵の場合(第3種粉塵)	吸入性粉塵	2 mg/m <sup>3</sup>
	総粉塵	8 mg/m <sup>3</sup>

ACGIH(96-97)勧告値

時間加重平均(TWA)： 未設定

粉塵の場合(一般粉塵)	TLV-TWA 吸入性粉塵	5 mg/m <sup>3</sup>
	総粉塵	10 mg/m <sup>3</sup>

設備対策： 粉塵の発生源を密閉する設備又は局所排気装置を設ける。

保護具： 保護マスク、保護メガネ等

#### その他の衛生上の予防措置

- (1) 取り扱い後は手洗い、洗眼を十分に行う。
- (2) 健康診断を定期的実施する。
- (3) 安全衛生教育を実施する。

#### 物理 / 化学的性質

外観	:	暗灰色の粉体
見掛密度	:	1.5 ~ 3.5 g/cm <sup>3</sup>
タップ密度	:	3.0 ~ 4.7 g/cm <sup>3</sup>
沸点	:	2,750
融点	:	1,535
蒸気圧	:	不揮発性

蒸気比重：  
 溶解度： 水に不溶  
 その他： 平均粒子径 3～6 μ

---

危険性情報（安定性、反応性）

引火点： なし  
 発火点： データなし  
 爆発範囲： 上限 下限  
 反応性： 一般的取扱い、貯蔵の条件では安定。  
 酸化剤との接触を避ける。  
 自己反応性： 空気中の湿気で酸化する。

粉塵は静電気及び衝撃による火花等により粉塵爆発を起こす可能性がある。

---

有害性情報<sup>1)</sup>

刺激性： 皮膚 ウサギ 刺激性なし  
 眼 ヒト 結膜の炎症と刺激を伴う角膜上の錆の輪を生じる。  
 感作性： データなし  
 急性毒性： 経口 ラット LD<sub>50</sub> 30,000 mg/kg  
 吸入 微かな有害性あり  
 静注 ウサギ 0.5～1.0 g/kg 1週間後には回復  
 亜急性及び慢性毒性：  
 経口 ラット 60日間、0.1, 1.0, 5.0% 混餌して投与。  
 結果：血液学的、組織学的及び尿検査において正常やや重量増加。  
 気管注入 ラット TDL<sub>0</sub> 506 mg/kg/15週間。  
 結果：中間期において新生物が発生がみられた。  
 変異原性： データなし  
 発がん性： 経皮 マウス 20 mg, 16週間 腫瘍発生なし。  
 催奇形性： データなし  
 代謝・排泄： データなし

---

環境影響情報

生分解性： データなし  
 生態影響： データなし

---

廃棄上の注意

- (1) 廃棄は廃棄物処理免許を持つ処理業者に処理を委託する。
- (2) 焼却処理を行う場合は、有害排ガスが発生する恐れがあるので燃焼排ガスの処理対策を行う。

---

輸送上の注意

- (1) 車輛等によって運搬する場合、荷送人は運送人に運送注意書を交付することが望ましい。

- (2) 梱包が破れないように水濡れや乱暴な取扱いは避ける。
- (3) 容器の輸送及び運搬は、常にしっかりと固定した状態で行い、特に瓶及び缶は輸送中に互いに衝突して破損することのないようにあらかじめ適当な緩衝物を詰めていく。

---

主な適用法規

消防法 : 危険物第2類(可燃性固体) 鉄粉(500 kg)

---

その他

---

参考文献

---

- 1) ISP TECHNOLOGIES INC. MATERIAL SAFETY DATA SHEET

參考資料

CIP S-1640 參照